

# 道徳科研究部報

令和5年7月14日  
浜松市教育研究会道徳科研究部  
第2回研修会の御案内

夏の日差しが降りそそいでくる時期になってまいりました。  
皆様には、第1回の研修会に参加していただき、ありがとうございました。  
今回の道徳科研究部報では、4月の主任者会と第1回研修会の講話内容の報告、第2回研修会の案内をさせていただきます。



## 【主任者会】4月14日（金）

講話 「浜松の道徳科授業改善はどこまで進んだか ～教科化からの5年を振り返る～」

浜松市教育委員会指導課 武田伸江指導主事

- ここ数年で「自分の価値観、世の中の価値観が変わってきた」と感じる事  
・自分の常識や当たり前は、誰にとってもそうなのか  
・ICT化、男女の差、結婚・恋愛の考え方
- 道徳科で目指す学び  
・子供主体で、教師は明確な意図をもって話し合いをファシリテートする  
・評価…「いい考えだね」←教師の基準でほめている  
「よく考えたね」←自己との関わりで多面的・多角的に考えていることをほめる
- はままつマナー  
・小学校低学年以外の冊子の配布は終了（徐々に低学年も終了していく）  
・chromebookでの活用を続けてほしい

## 【第1回研修会】5月31日（水）

### 1 研修計画

〈令和5年度 浜松市教育研究会 研修テーマ〉  
「愛情と情熱を持って学び続け 子供たちの道しるべになろう」(R1～)

〈道徳研究部 研究テーマ〉  
「自分らしさを大切に、ともによりよく生きる子供を育む道徳教育  
～考え、討論する 道徳科の授業 を核に～」(R2～)



### 2 講話「道徳科授業改善を次のステップへ」

浜松市教育委員会指導課 武田伸江指導主事

#### (1)道徳教育推進教師に期待されること

- ・道徳科は、何をやる時間(目標)か、深い学び(指導)とは何か、何を評価するか等について、理解を深めて校内の研修で共有する。

#### (2)道徳科で目指す学びとは

- ✖ 教師主体 教える、諭す、答えに導く
- ◎ 子供主体 促す、一緒に考える、整理する

(3)深い学びにするために、ねらいを明確化する

・「道徳的価値の理解」…発達段階を踏まえて理解する。

「子供の実態把握」…日頃どのような指導を行っているのか、自分の学級にはどのようなよさや問題点があるのか、本時で学ばせたいことは何かを明確にする。

「教材の効果的な活用」…子供の実態をもとに、教材をどのように活用し、どのような学習活動を行うのかを明確にする。

### 第2回研修会について

1 日時 令和 5年 8月 3日 (木) 9:30~11:30 (16:30)

2 場所 可美公園総合センター

浜松市南区増楽町920-2

3 日程

9:00~ 受付

9:30~ 開会

9:45~11:15

講義「令和の時代に求められる道徳教育と道徳科の指導」

東京学芸大学先端教育人材育成推進機構

教授 永田 繁雄 氏

11:30 閉会

13:00~16:30 授業づくり相談

(参加者:授業校主任・授業者及び、運営委員、研究部組織メンバー)

4 その他

○ミライムアンケートで、出欠確認をします。7月21日(金)までにお答えください。

○駐車場は、各校1台です。詳細は、後日連絡いたします。

○持ち物は以下の通りです。

・学習指導要領解説 特別の教科 道徳編(自分の校種のもの)

・後日ミライムで配布する資料をプリントアウトしたもの

○「授業づくり相談」に参加される方は、ブロック長から送られた授業構想シートを基に、中心発問を考え、御持参ください。